

中之口東小学校区

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns and 12 rows listing residential areas: 潟浦新, 上小吉, 高野宮, 小吉, 中之口, 長場, 針ヶ曾根, 東小吉, 東中, 東船越, 門田, 六分.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等 (中之口出張所), 警察・消防 (西蒲消防署中之口出張所), 消防団 (西蒲方面隊 中之口分団), 水防倉庫 (中之口), 一時避難場所 (中之口出張所駐車場, スポレック中之口駐車場, etc.), 広域避難場所 (none), 主利な用要施設配慮者 (幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, etc.).

●人口

Table and pie chart showing population statistics: 総人口 (2,937人), 0~4歳 (93人, 3.2%), 5~14歳 (266人, 9.1%), 15~74歳 (2,218人, 75.5%), 75歳~ (360人, 12.3%), 65歳以上人口 (739人, 25.2%), 世帯数 (886世帯), etc. Pie chart shows age distribution.

●建物関連指標

Table and pie chart showing building indicators: 総棟数 (2,185棟), S55年以前建築 (958棟, 43.8%), S56年以降建築 (922棟, 42.2%), 非木造 (306棟, 14.0%), etc. Pie chart shows building construction year distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

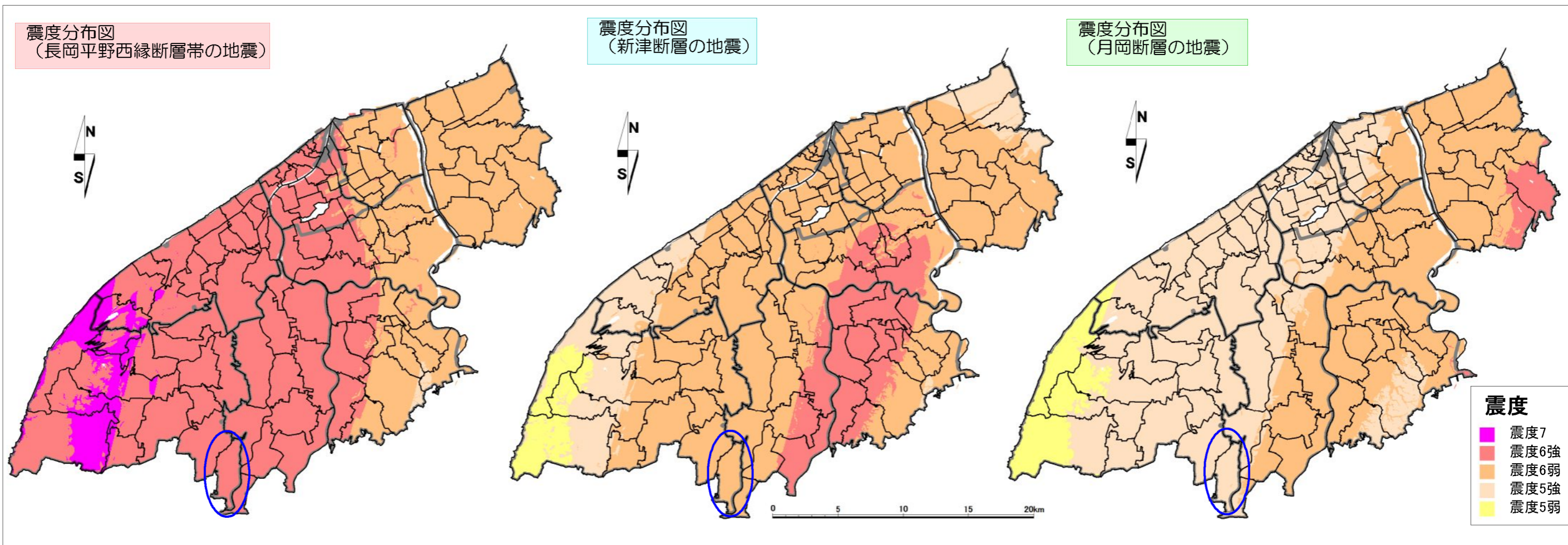
Table of evacuation shelters and tsunami evacuation buildings within the district, including Nakano-Kuchi Higashi Elementary School, Gymnasium, Community Center, and Middle School.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation shelters and tsunami evacuation buildings outside the district, including Nakano-Kuchi Senior Center, Kindergarten, Nakanokuchi Daycare, and various middle schools.

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 地震 (震度5弱程度), 津波 (浸水想定なし), 土砂 (大河津分水路の洪水等による浸水の可能性がある).



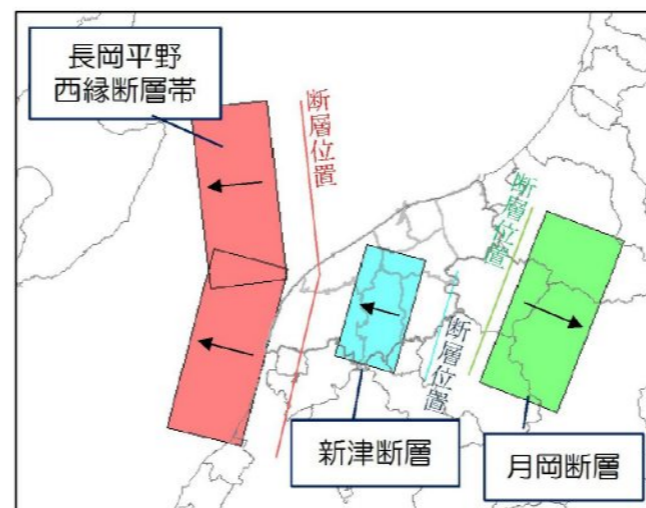
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

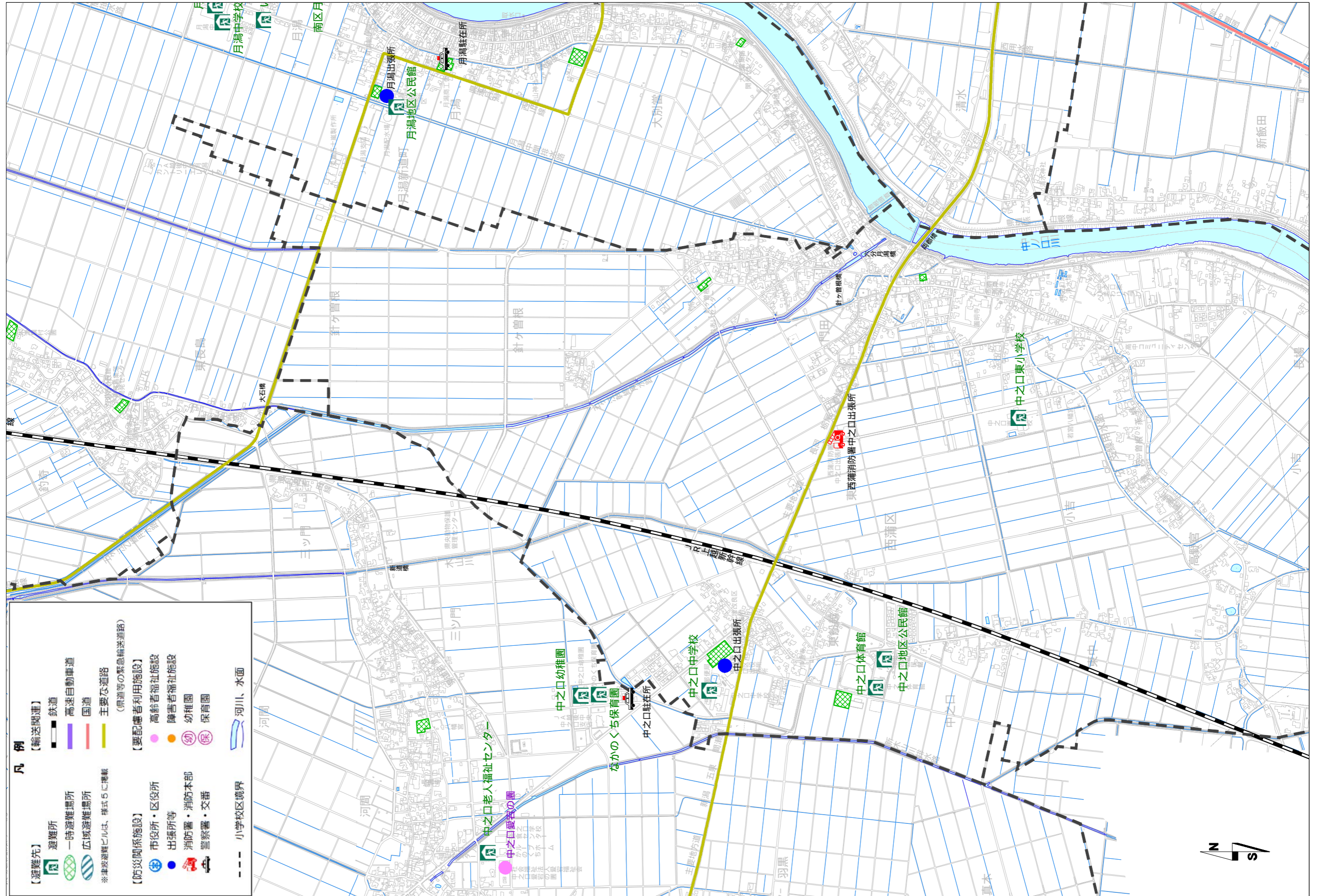
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

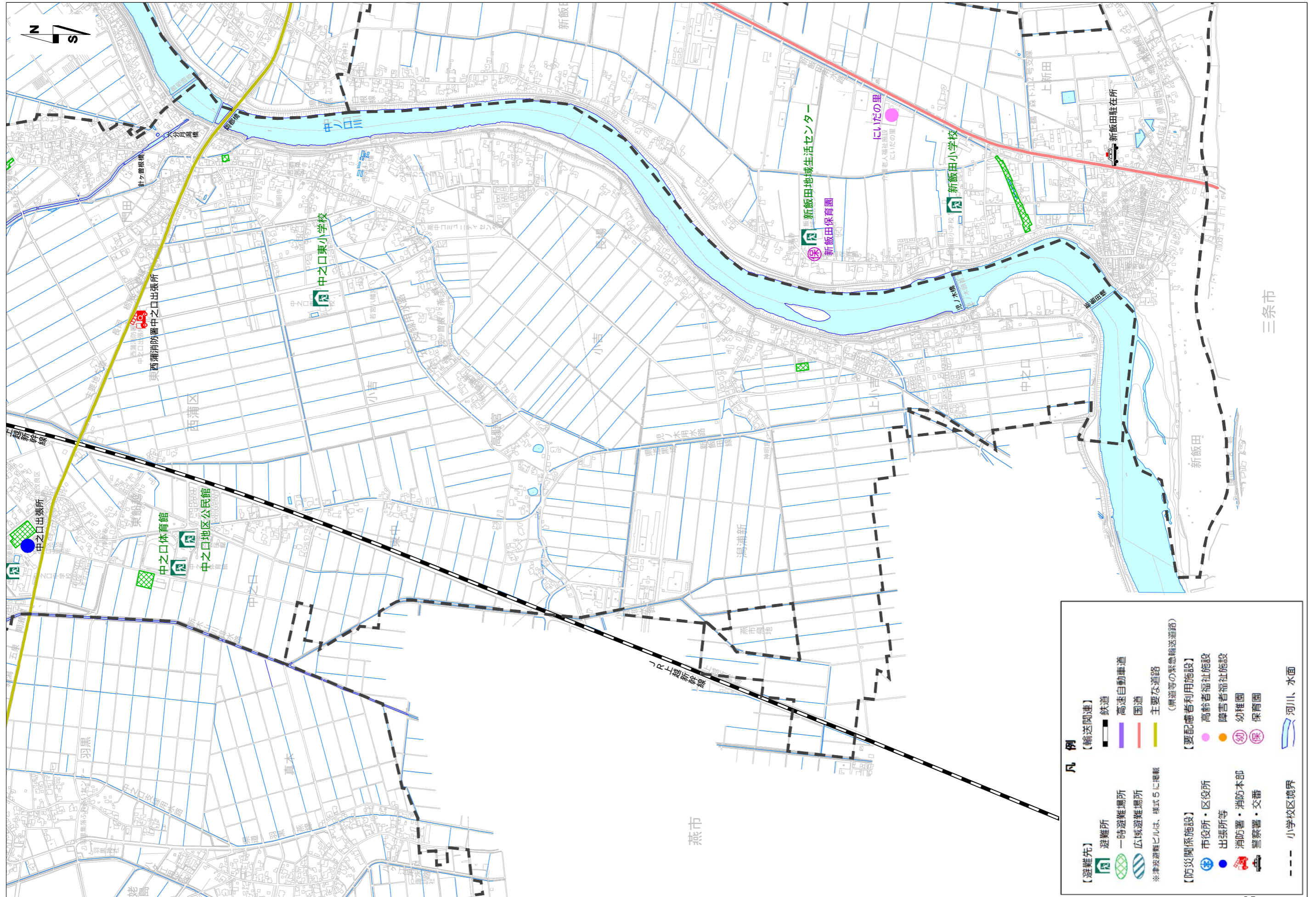


← は、断層の傾きを示しています。



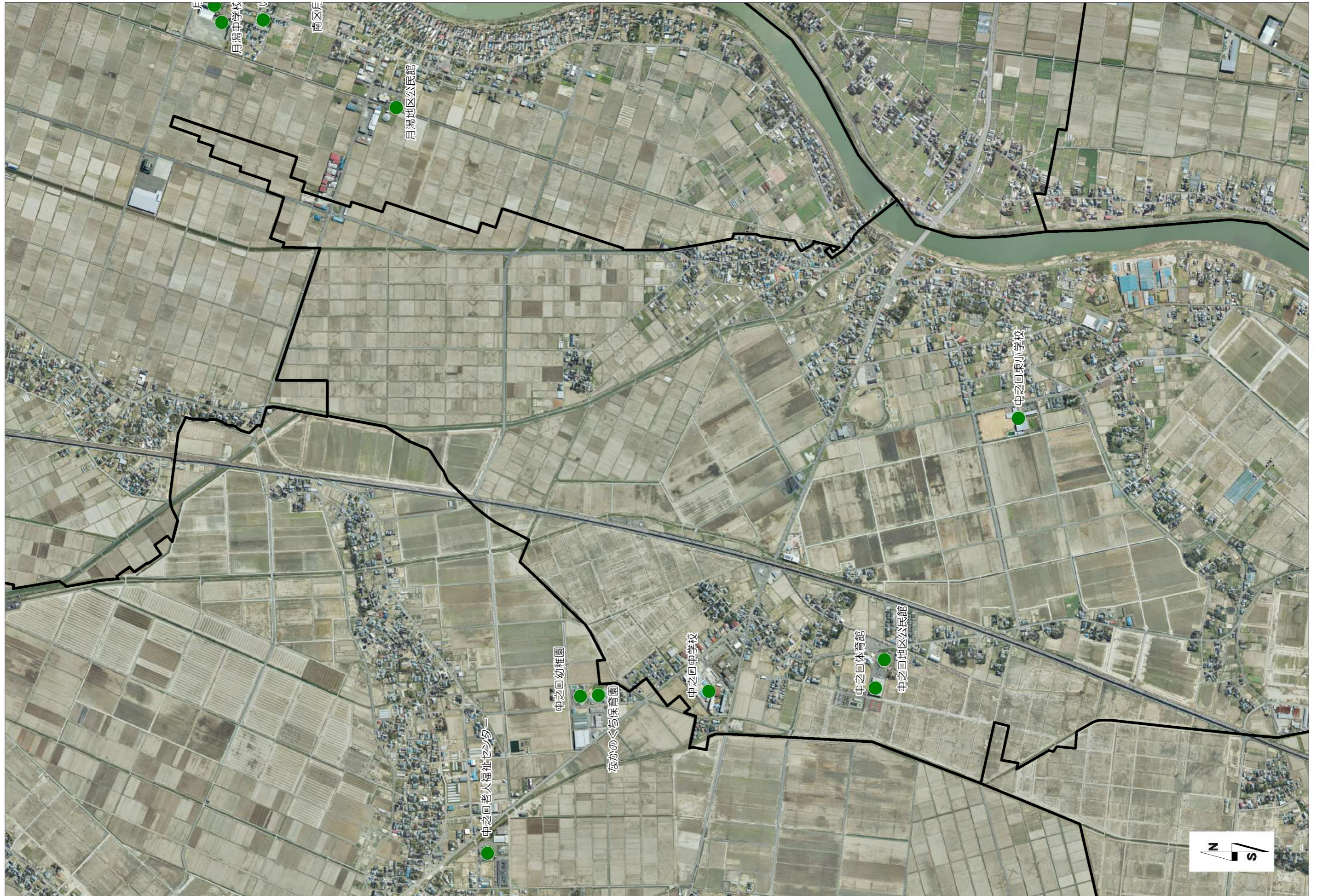
【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

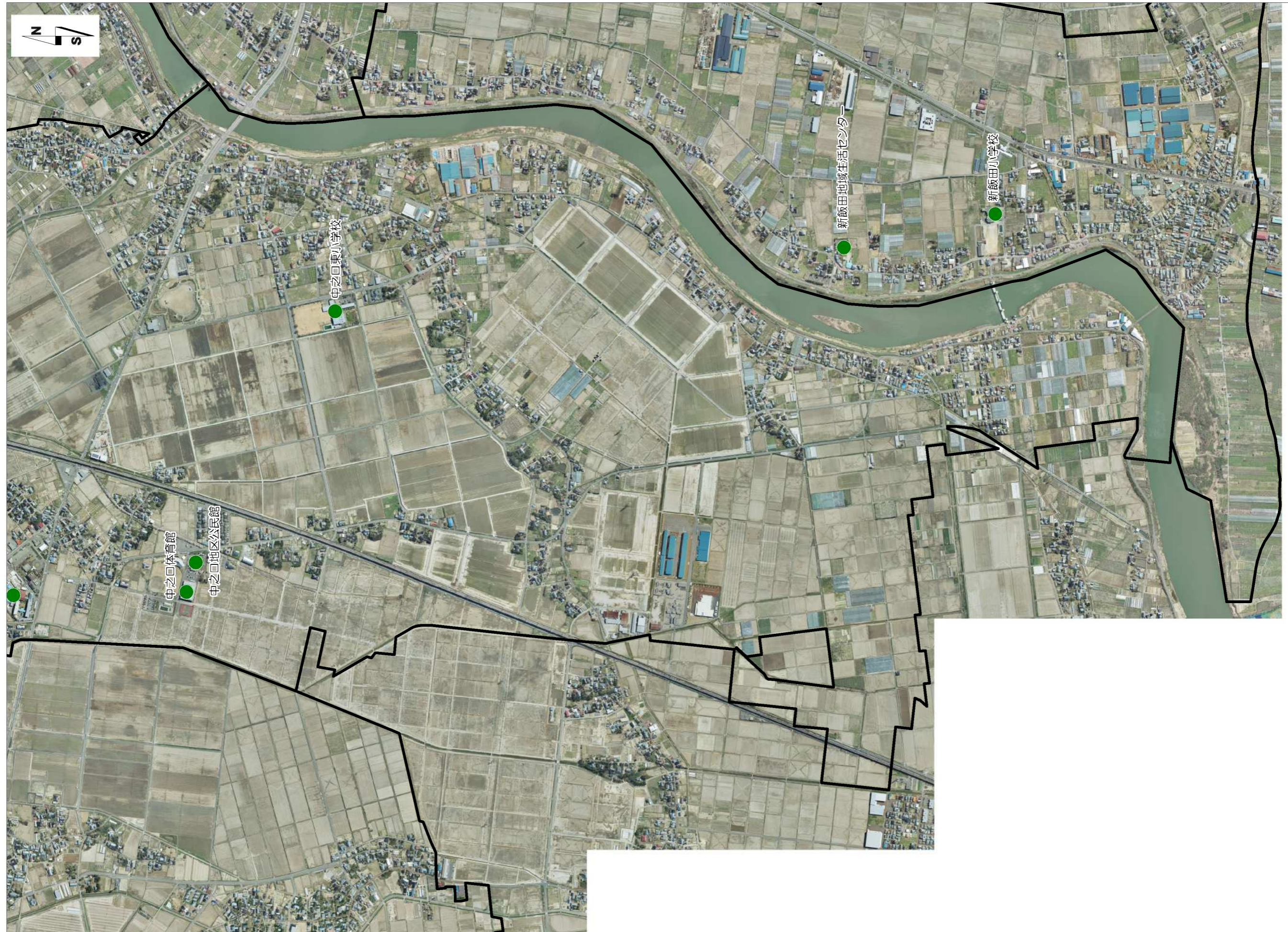


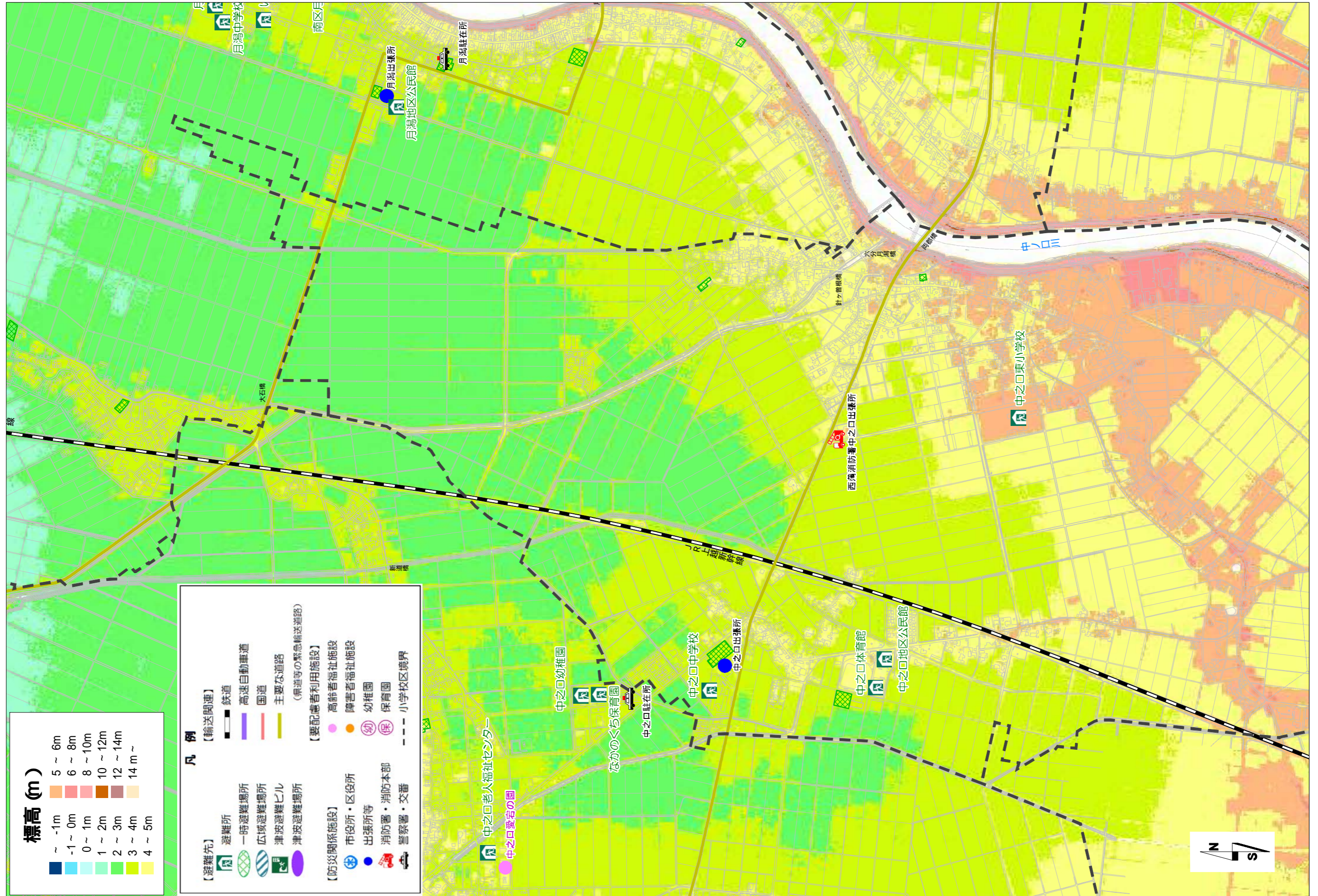


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



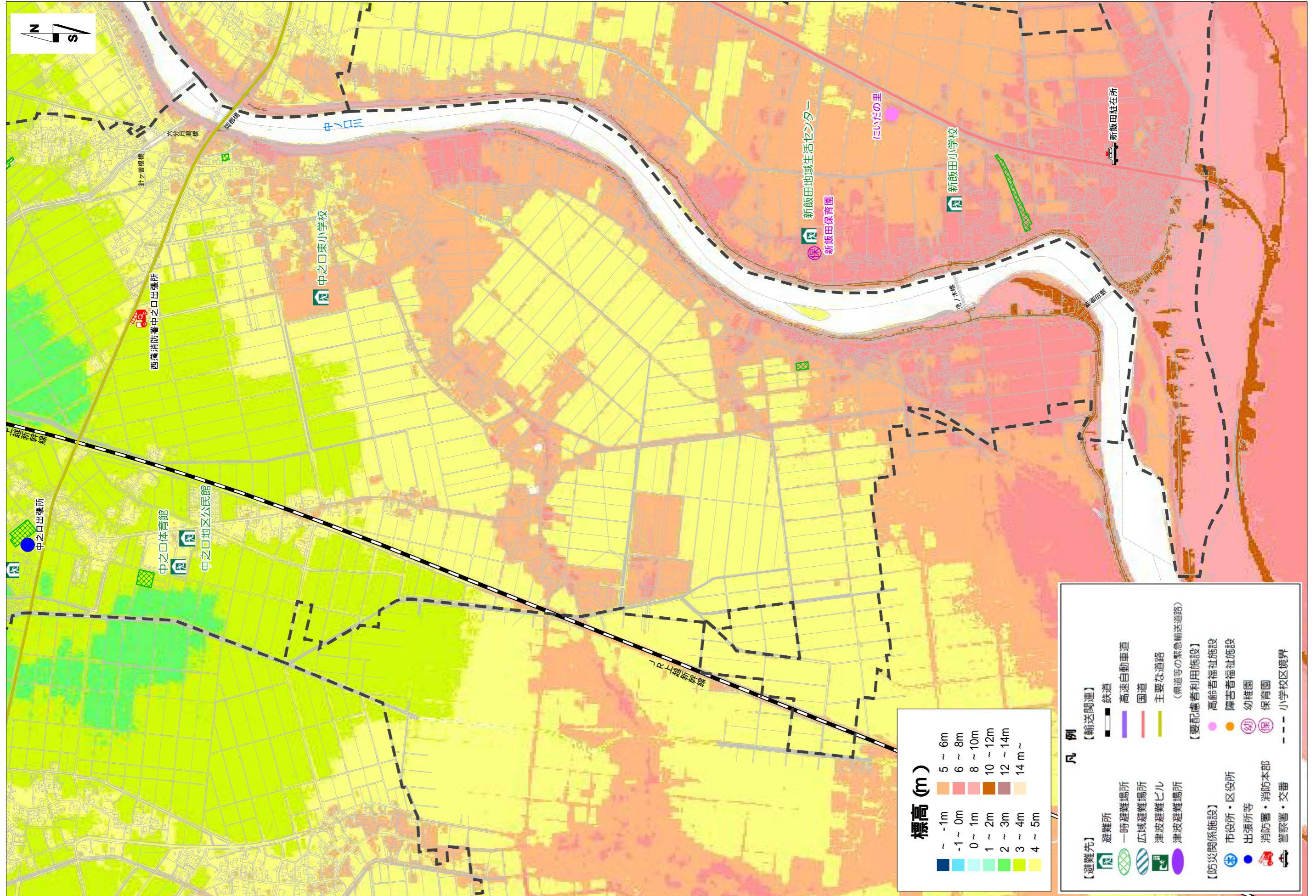






【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院,平成25年)

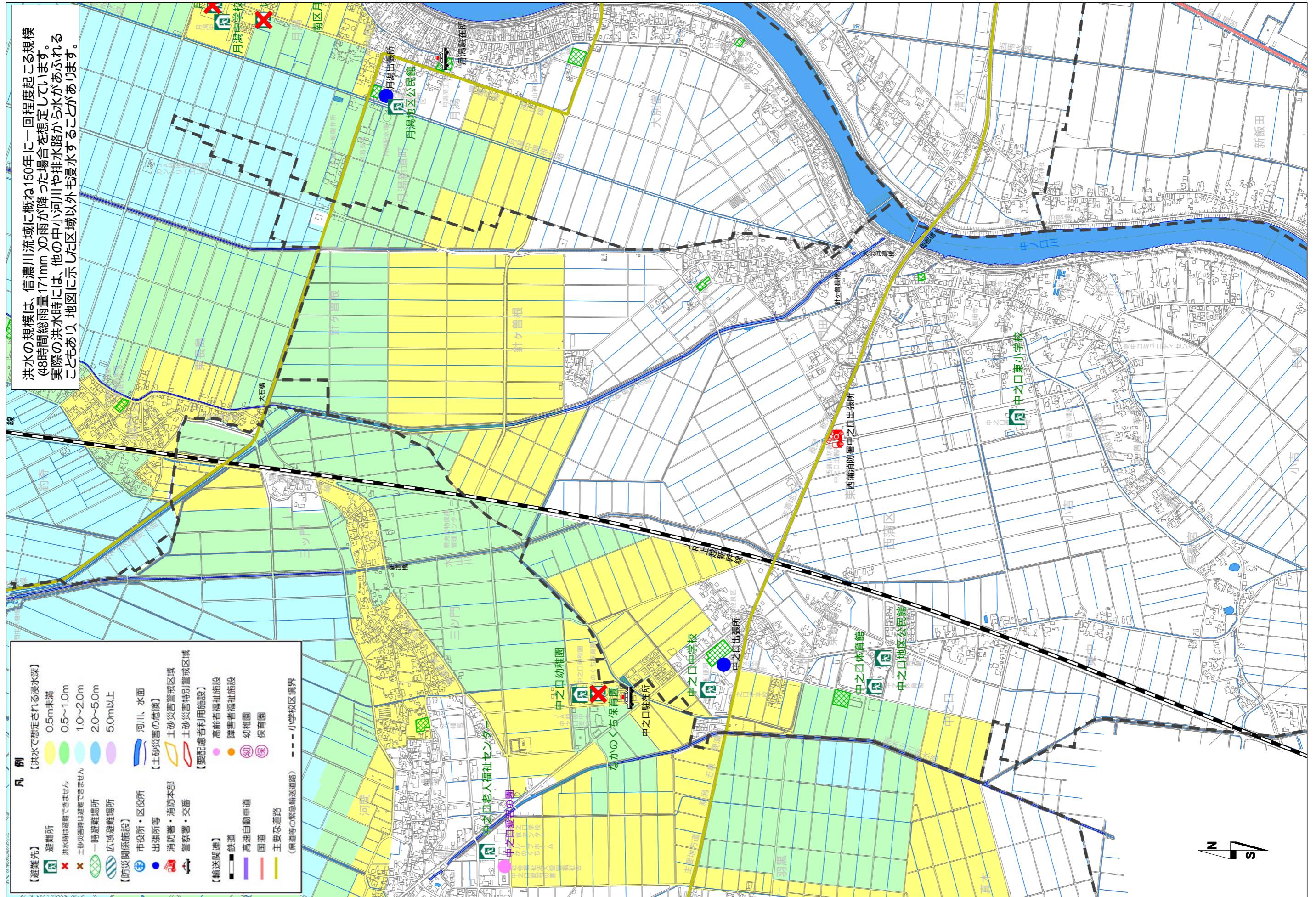


凡例

【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
津波避難ビル	主要な道路
津波避難場所	(県道等の緊急輸送道路)
	【要配慮者利用施設】
【防災関係施設】	高齢者福祉施設
市役所・区役所	障害者福祉施設
出張所等	幼稚園
消防署・消防本部	保育園
警察署・交番	小学校区境界

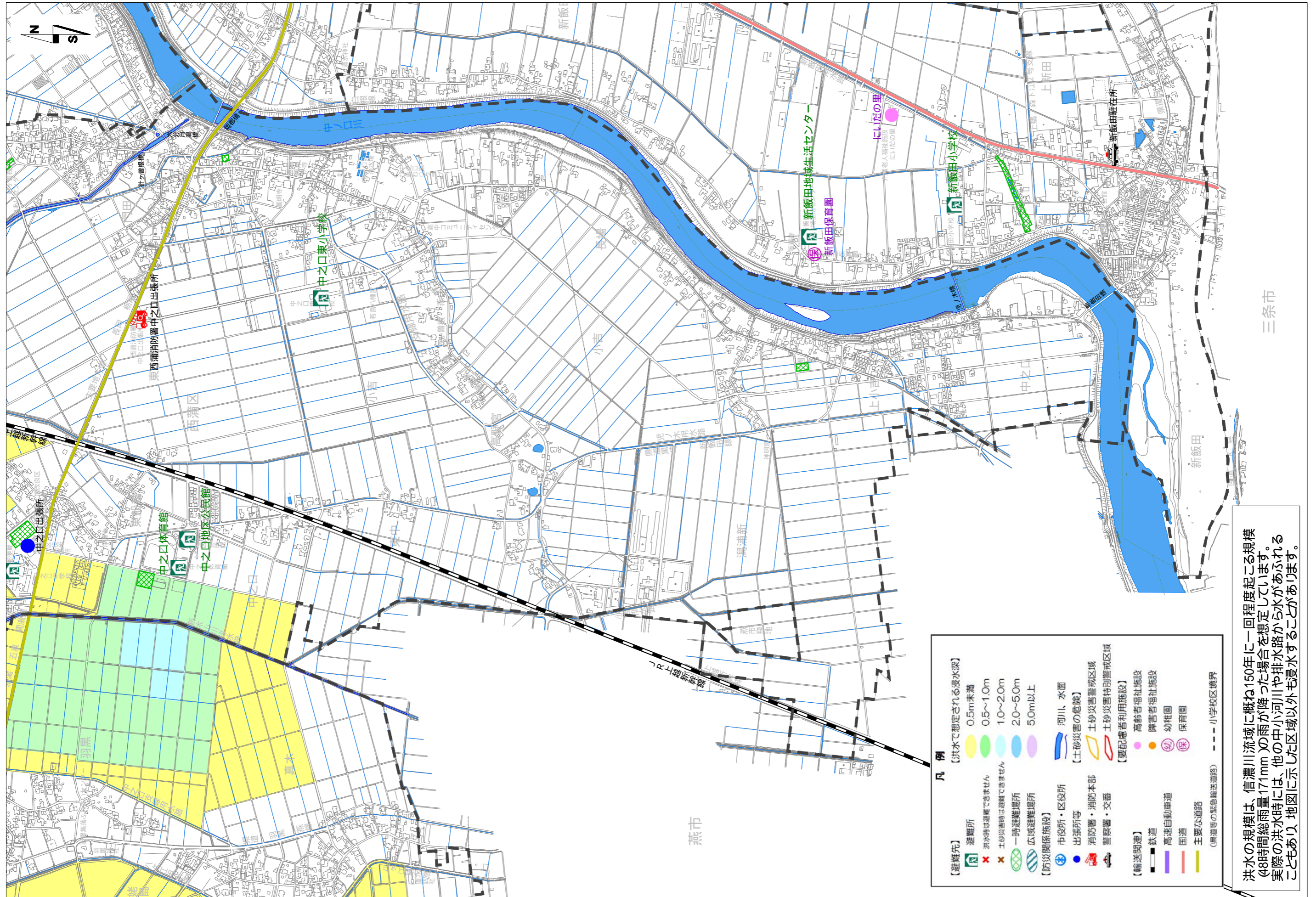
標高 (m)

5 ~ 6m
6 ~ 8m
8 ~ 10m
10 ~ 12m
12 ~ 14m
14 m ~
4 ~ 5m
3 ~ 4m
2 ~ 3m
1 ~ 2m
0 ~ 1m
-1 ~ 0m
-1 ~ -1m



【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域 (国土交通省,平成14年4月30日)

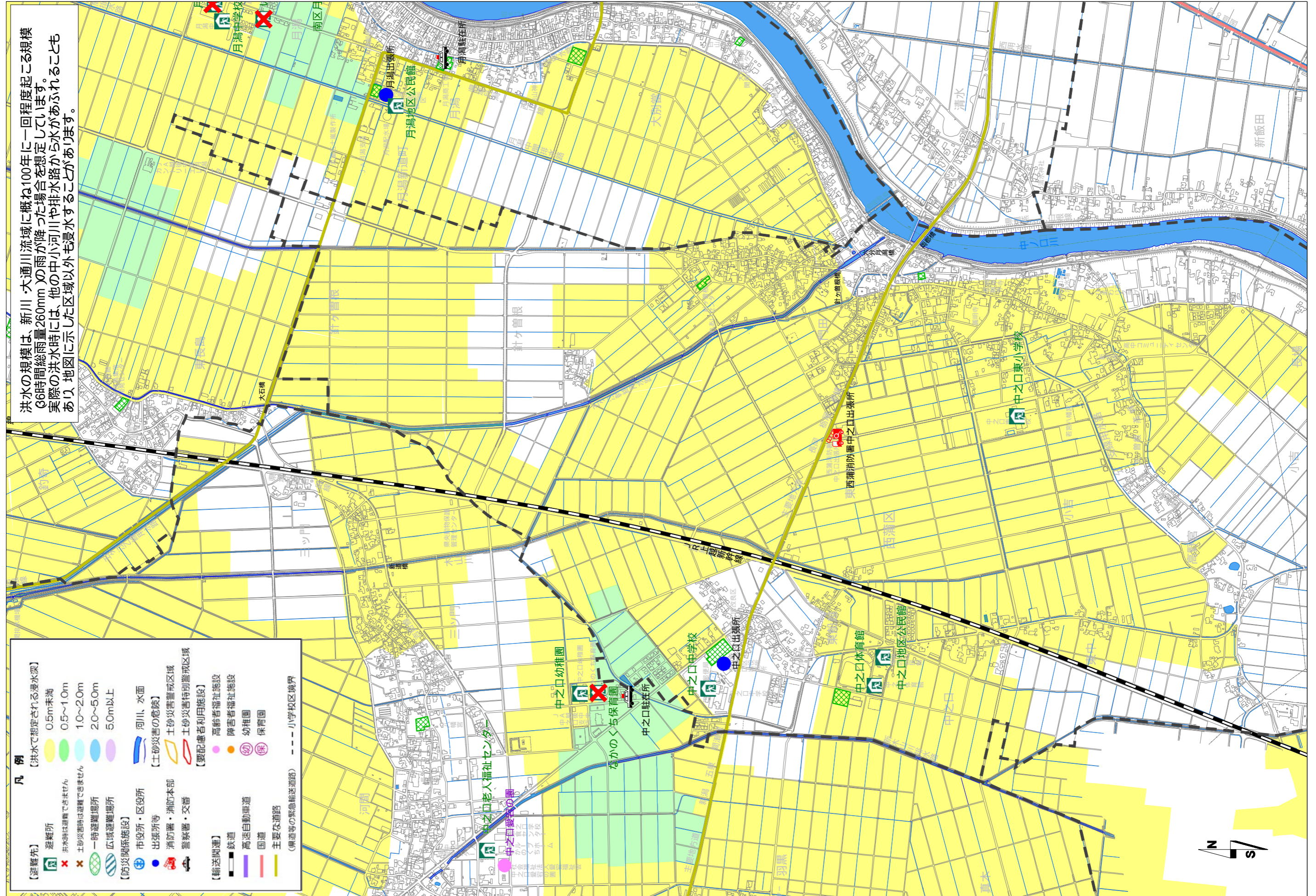




洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

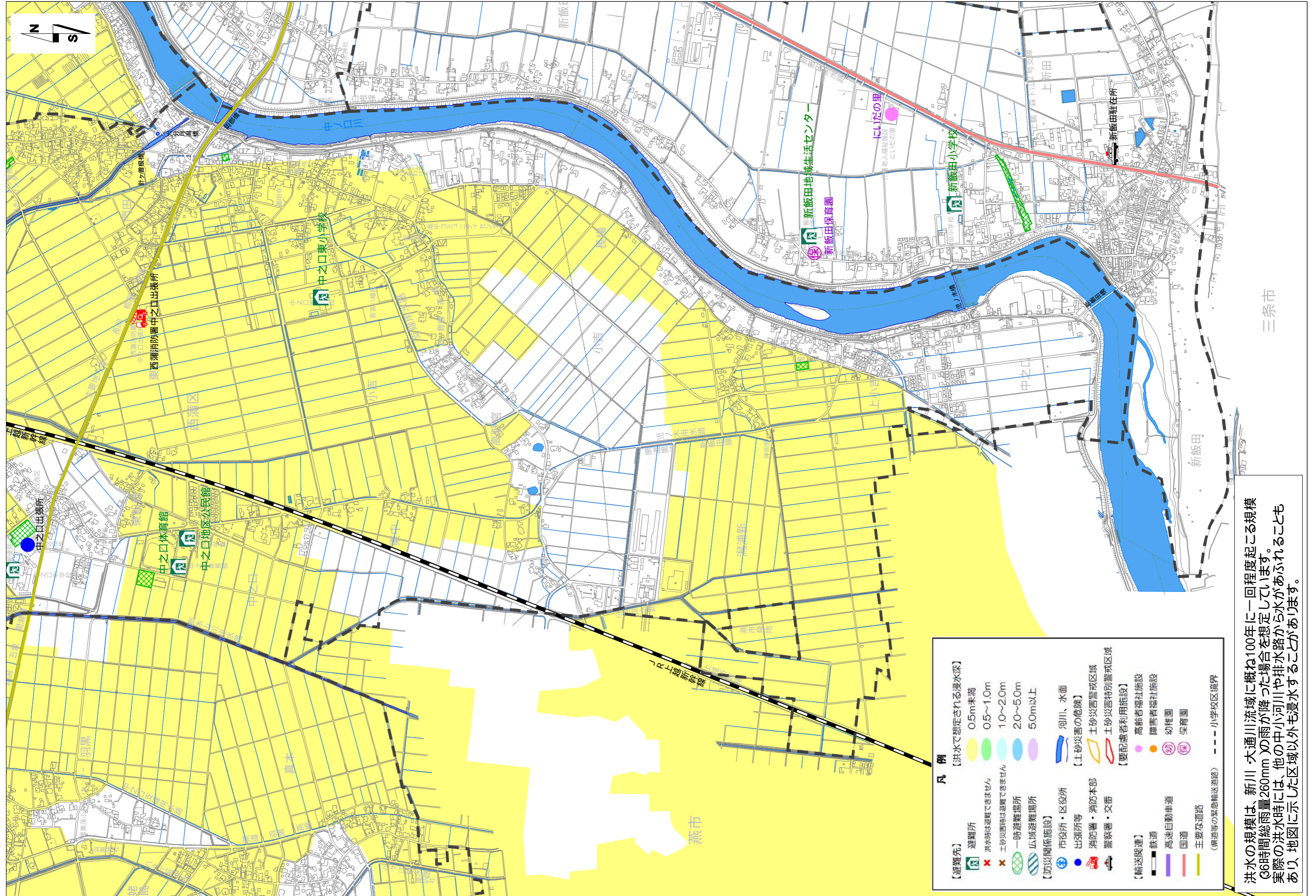
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 (6時間総雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域（新潟県、平成20年2月26日）



洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 (36時間総降雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること
 あり、地図に示した区域以外にも浸水することがあります。

三条市

中之口

新飯田